

令和元年度 土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議（要旨）

場所	土岐市保健センター 4階 大研修室
日時	令和元年12月17日（火） 15時00分から16時30分
委員	伊藤嘉子委員、大島健太郎委員、神田昌宏委員、土本ゆみ委員、豊田洋一委員、野田準二委員
プロジェクトチーム	稲垣総務課長、田中子育て支援課長、桑原保健センター所長、水野産業振興課長、加藤都市計画課長、太田教育総務課長、山路まちづくり推進課長
事務局	下原総務部長、林企画財政課長、柳ヶ瀬企画財政課主幹、林企画財政課課長補佐、鈴木企画財政課企画統計係長

● 各委員による意見交換

- ◎あらゆる社会問題の根源に人口減少があり、社会保障費や事務的経費が膨らみ続け、政策に使える自由な予算が急速に減っている。
- ◎要望に応じて補助金を出すだけでなく、住民活動の自立を手助けする予算の使い方を考えることが重要。
- ◎イベントや行事において、財源確保のためクラウドファンディングといった手法を取り入れたり、そういった手法を団体に教える取り組みがあると良い。
- ◎近隣市町村のほとんどが消滅可能性都市という状況の中、美濃加茂市はここ数年人口が増加している。
- ◎土岐市は人口が減少しているが、美濃加茂市のような事例に習うのもひとつの策ではないかと思う。
- ◎美濃加茂市では駅裏の開発が進み、大企業等も進出してきていることが人口増の一因とみているが、土岐市は駅裏に土地が少ないので、駅前で何か賑わいを創出できる取り組みができるのではないか。
- ◎様々な人に土岐市の印象を聞くと、駅前の賑わいが少ないこと、地域の結びつきが強く、市全体の協力性が薄いことを言われる。
- ◎アウトレットに年間700万人の人が来ていて、そこから人が流れてくるような魅力的なものを、何か一つでも良いので作れないかと感じている。
- ◎初めは陶器からスタートし、通信事業の特殊な製品の製造を始めて、世界に進出する企業が出てきたように、同じ窯業界の中で現状から少し抜け出して、様々な事業を展開していけるのではと思う。
- ◎商工会議所としても、今まで美濃焼メインで後継者育成に取り組んできたが、もう少し幅広く若手経営者を育てていく取り組みを始めている。

- ◎子どもたちに、小さいころ土岐市に住んでいてよかったと思ってもらえるよう、地域の子どもたちと野菜の収穫を一緒に行う等の交流をしている。
- ◎明るい社会をつくっていく基本ができると良いと思う。
- ◎青年団体協議会で、図書館への寄贈や施設へ手作りのものを寄贈する取組を行っている。
- ◎土岐市では、図書館で浴衣イベント等、本に触れ合う機会を与えるイベントが多く、子どもたちの教育力を上げる取組みを一生懸命行っていると感じる。こういったイベントは続けてほしい。
- ◎働ける場所を周知したり、女性や高齢者が働き続けられると良い。学童の支援員には高齢の方も多いが、まだまだ活躍していけると感じる。
- ◎青年団では婚活パーティーを長年やっているが、市の補助金やまちづくり委員会の予算を使わせてもらい、婚活パーティー前の事前セミナーを実施する等の取組みもはじめている。
- ◎最近では、結婚願望があまりない若者が増えていると感じる。
- ◎マッチングアプリを使っている子が周りにも意外といる。マッチングアプリの使い方や、危険性、注意点のセミナーがあっても良いのでは。
- ◎マッチングアプリを体験して、マッチングシートを取り入れる等、婚活パーティーに活かす取組みをしている。
- ◎いろいろと取り入れていきたいのでいい案があれば教えてほしい。
- ◎今会議所では観光に力を入れており、宿泊をメインにして柿野温泉協議会を立ち上げ、夏のホテル、秋のもみじと、タイアップして進めている。
- ◎旅館ということで食事に特徴を出そうと、専門家をお願いして進めている。食事には器が重要。美濃焼の器を旅館や飲食店で多く使ってもらえるよう進めていきたい。
- ◎市外の知人に曾木のもみじを紹介したが、感動して鳥肌が立ったと言われた。曾木のもみじはそれだけ素晴らしく、土岐市の宝だと思う。そういった観光名所を、点ではなく横につなげていきたい。
- ◎美濃焼はとても良いものだと思うが、ブランディングを上手くやるべき。
- ◎例えば和牛だと、コンテストで1位を取ったのは知名度の高くない静岡牛。つまり、そこそこのものでもブランディングのやり方次第で松阪牛や佐賀牛のように、知名度を格段に上げることができる。
- ◎安いものから全てが美濃焼ではブランディング力が下がってしまう。例えば外部機関が認めた焼き物をランク付けしてブランディングできる仕組みができれば良いと思う。

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の
実施状況及び効果検証
(事業詳細)

H28年度 ～ H30年度

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1：土岐市の次代を担う「ひと」を育む

1 若い世代の結婚への関心・意欲を高めるとともに出産前後の支援をする

推進会議委員による評価

【2人】
【2人】
【2人】
【0人】

- 非常に効果的で有効であった
(目標達成するなど大いに成果が得られたとみなせる)
- 相当程度効果はあり有効であった
(目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)
- 一定の効果はあった
(達成状況は芳しくなかったものの、取組を継続すべきである)
- 効果が無く有効ではなかった
(このまま継続しても成果が得られないとみなせるもの)

指標名	基準値(年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(年)	達成度
子育ての環境や支援への満足度	19.7% (H26)	27.3% (H28)	18.5% (H29)	25.0% (H30)	25.0% (H31)	◎ (目標達成)
特定不妊治療費助成制度利用者数	40件 (H27)	45件 (H28)	46件 (H29)	31件 (H30)	40件 (毎年)	△ (目標未達成)

事業 「出会い・出産の支援」のための主な事業

若い世代の出会いのサポート	思春期体験学習の実施	「マタニティクッキング」の開催	「プレマクラス(妊婦クラス)」の開催
事業内容 婚活支援事業(婚活パーティー等)への助成(10万円/1件)。 決算額 28 194千円 29 335千円 30 100千円 事業実績 28 ・2件の事業に補助し、延べ86名参加。8組のカップル成立。 29 ・4件の事業に補助し、延べ137名が参加、14組のカップルが成立 30 ・1件の事業に補助し、25名が参加、5組のカップルが成立。	事業内容 ・中学生を対象に、赤ちゃんとのふれあい体験を通じた生命や性の尊厳を考える機会を提供 決算額 28 0千円 29 0千円 30 0千円 事業実績 28 ・8月に1回実施、2名参加 29 ・8月に1回実施、2名参加 30 ・8月に1回実施、3名参加	事業内容 ・妊娠中に取りたい栄養や家族の健康を守る食についての知識を知っていただくために、マタニティクッキングを実施(年4回程度) 決算額 28 174千円 29 192千円 30 169千円 事業実績 28 ・偶数月に実施(年6回)、計32名参加 29 ・マタニティクラスとして偶数月に実施(年6回)計32名参加 30 ・マタニティクラスとして偶数月に実施(年6回)計31名参加	事業内容 ・胎教や抱っこ、オムツの替え方、おっぱいのセルフケアなど、自信を持って赤ちゃんを産み育てられるように、出産前の妊婦さんを対象としてプレマクラス(妊婦学級)を開催 決算額 28 43千円 29 56千円 30 49千円 事業実績 28 ・奇数月に実施(年6回)、計27名参加 29 ・奇数月に実施(年6回)、計27名参加 30 ・奇数月に実施(年6回)、計27名参加
「パパマクラス(両親学級)」の開催	乳幼児学級の開催	「ぎふっこカード(アプリ)」の配布促進	一般・特定不妊治療費助成事業
事業内容 ・お風呂の入れ方やお父さんの妊婦体験など、夫婦そろって出産・育児について学べるパパマクラス(両親学級)を開催(年4回程度) 決算額 28 45千円 29 57千円 30 45千円 事業実績 28 ・年4回実施、計58組(116人)参加 29 ・年4回実施、計58組(116人)参加 30 ・年4回実施、計56組(112人)参加	事業内容 ・乳幼児期の子育てについての学びと交流による不安や悩み・ストレスの解消を目的とした乳幼児学級を開催 決算額 28 941千円 29 893千円 30 893千円 事業実績 28 ・名称を「あすなる・乳幼児学級」から「乳幼児学級」と改め、0～1歳児、2～3歳児の親を対象に、各3学級(1学級15組)で、5月から2月で計18回の乳幼児学級を開催。 29 ・0～1歳児、2～3歳児の親を対象に、各2学級(1学級15組程度)で、5月から2月で計18回の乳幼児学級を実施。 30 ・0～1歳児、2～3歳児の親を対象に、各2学級(1学級15組程度)で、5月から2月で計17回の乳幼児学級を実施。	事業内容 ・妊娠中の世帯への「ぎふっこカード(アプリ)」の配布促進 決算額 28 0千円 29 0千円 30 0千円 事業実績 28 子育て支援課、各支所、健康増進課で配布 29 子育て支援課、各支所、健康増進課で配布 30 子育て支援課、各支所、健康増進課で配布	事業内容 ・人工授精といった保険適用外の一般不妊治療のための費用を助成 ・体外受精や顕微授精といった保険適用外の不妊治療費用を助成 決算額 28 3,741千円 29 2,655千円 30 2,507千円 事業実績 28 ・一般不妊治療費給付件数22件(22人) ・特定不妊治療費給付件数87件(46人) 29 ・一般不妊治療費給付件数22件(22人) ・特定不妊治療費給付件数87件(46人) 30 ・一般不妊治療費給付件数18件(17人) ・特定不妊治療費給付件数60件(31人)

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1：土岐市の次代を担う「ひと」を育む

2 ライフステージに応じた子育て支援を充実する

推進会議委員 による評価	【3人】	□非常に効果的で有効であった (目標達成するなど大いに成果が得られたとみなせる)
	【1人】	□相当程度効果はあり有効であった (目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)
	【2人】	□一定の効果はあった (達成状況は芳しくなかったものの、取組を継続すべきである)
	【0人】	□効果が無く有効ではなかった (このまま継続しても成果が得られないとみなせるもの)

指標名	基準値(年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(年)	達成度
子育ての環境や支援への満足度	19.7% (H26)	27.3% (H28)	18.5% (H29)	25.0% (H30)	25.0% (H31)	◎ (目標達成)
3人乗り自転車等購入助成利用件数	360件 (H27)	174件 (H28)	184件 (H29)	181件 (H30)	360件 (毎年)	△ (目標未達成)
保育園・幼稚園等の充実に関する市民満足度	20.2% (H25)	27.3% (H28)	18.5% (H29)	25.0% (H30)	25.0% (H31)	◎ (目標達成)
待機児童数	0人 (H26)	0人 (H28)	0人 (H29)	0人 (H30)	0人 (H31)	◎ (目標達成)
土岐市奨学生制度の利用件数	63件 (H26)	69件 (H28)	76件 (H29)	78件 (H30)	70件 (H31)	◎ (目標達成)

事業 「子育て世帯の経済的負担の軽減」のための主な事業

3人乗り自転車等購入助成事業		児童手当の支給		児童扶養手当の支給		乳幼児等医療費助成	
事業内容	・1歳から6歳のお子さんが二人以上いる家庭が購入する「3人乗り自転車」と「ヘルメット」、チャイルドシートの購入費用を助成	事業内容	・子育て世帯の経済的負担の軽減のため、中学校卒業までの子どもを養育している父母に対する手当を支給	事業内容	・生活の安定と自立を助け、子どもの健やかな成長のために、父母の離婚などにより父親(母親)と一緒に暮らしていない母子(父子)家庭等に対する手当を支給	事業内容	・中学校3年生までの子どもにかかる医療費の自己負担分の助成(所得制限なし)
決算額	28 1,989千円 29 1,693千円 30 1,584千円	決算額	28 901,181千円 29 885,862千円 30 866,195千円	決算額	28 185,262千円 29 187,976千円 30 179,969千円	決算額	28 235,054千円 29 233,041千円 30 211,151千円
事業実績	28 3人乗り自転車:2件 100,000円 チャイルドシート等:174件 1508,200円 29 申請件数 185件(自転車1件、チャイルドシート184件) 30 申請件数 181件(自転車2件、チャイルドシート179件)	事業実績	28 支給延人数 82,061人・月 29 支給延人数 80,690人 30 支給延人数 78,030人	事業実績	28 支給延人数 4,946人 29 支給延人数 4,796人 30 支給延人数 4,483人	事業実績	28 受診件数 114,250件 29 受診件数 112,095件 30 受診件数 111,446件

事業 「保育・育児環境の充実」のための主な事業

土岐市奨学生制度		認定こども園の整備		市内6児童館の運営		病後児保育	
事業内容	・土岐市奨学生に対して奨学金を交付(高校生6,000円/月、大学生8,000円/月)	事業内容	・市内に、認定こども園を順次整備	事業内容	・健康増進と情操豊かな子どもを育むために、市内6か所で児童館を運営	事業内容	・仕事など、やむを得ない事情により、家庭で病後のお子さんの保育が困難な場合、病後児保育所における保育を提供
決算額	28 1,989千円 29 1,693千円 30 1,584千円	決算額	28 12,474千円 29 77,249千円 30 894,738千円	決算額	28 60,065千円 29 69,070千円 30 67,191千円	決算額	28 1,137千円 29 715千円 30 333千円
事業実績	28 高校生41名 大学生28名 29 高校生36名 大学生39名 30 高校生41名 大学生32名	事業実績	28 ・のうなん保育園の濃南こども園への移行準備 ・西部こども園の基本設計 29 西部こども園の設計及び西部体育館等の解体工事 30 ・西部こども園建設工事 ・西部こども園建設施工監理委託 ・西部こども園備品調達	事業実績	28 利用者 延べ85,095人 29 利用者 延べ84,552人 30 利用者 延べ77,063人	事業実績	28 延べ利用者数 10人 29 延べ利用者数 2人 30 延べ利用者数 0人

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1：土岐市の次代を担う「ひと」を育む

3 地域で子どもを守り・育む環境をつくる

推進会議委員による評価

【3人】
【2人】
【1人】
【0人】

□非常に効果的で有効であった
(目標達成するなど大いに成果が得られたとみなせる)
□相当程度効果はあり有効であった
(目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)
□一定の効果はあった
(達成状況は芳しくなかったものの、取組を継続すべきである)
□効果が無く有効ではなかった
(このまま継続しても成果が得られないとみなせるもの)

指標名	基準値(年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(年)	達成度
子育て支援の充実に関する市民満足度	15.9% (H25)	27.3% (H28)	18.5% (H29)	25.0% (H30)	20.0% (H31)	◎ (目標達成)
保育園・幼稚園等の充実に関する市民満足度	20.2% (H25)	27.3% (H28)	18.5% (H29)	25.0% (H30)	25.0% (H31)	◎ (目標達成)
放課後教室の延べ参加人数	250人/日 (H27)	313人/日 (H28)	340人/日 (H29)	324人/日 (H30)	450人/日 (H31)	○ (数値改善)

事業 「地域における子育て支援の充実」のための主な事業

子育て外出支援事業		乳児家庭全戸訪問事業		子育て等にかかる総合的な相談受付		ファミリーサポートセンター事業					
事業内容	・児童センターの幼児用トイレを改修	事業内容	・生後4か月を迎えるまでのすべての乳児がいる家庭を対象に、母子保健推進員と保健師が訪問	事業内容	・子どもや家庭の悩み、心配事の相談を受ける「家庭児童相談室」を運営 ・言葉や運動といった、子どもの発達に心配がある方の相談を受け付ける「幼児育児相談(幼児療育センター)」を運営	事業内容	・子どもを預かってほしい人と、高齢者の中で子育てのお手伝いをしたい人をマッチング、地域としての育児の助け合いをサポート				
決算額	28	1,655千円	28	340千円	決算額	28	9,472千円	決算額	28	340千円	
	29	1,998千円	29	434千円		29	12,726千円		29	434千円	
	30	4,590千円	30	358千円		30	12,580千円		30	358千円	
事業実績	28	西部児童センターのトイレを洋式化し、ベビーチェアを設置	事業実績	28	対象者373名、家庭訪問数366件	事業実績	28	家庭児童相談の実施、療育センターによる幼児育児相談を実施	事業実績	28	利用会員数 153人 サポート会員数 47人 両方会員 12人 サポート会員活動件数 761人
	29	駄知児童センターのトイレを洋式化し、ベビーシートを設置		29	対象者373名、家庭訪問数366件		29	家庭児童相談の実施、療育センターによる幼児育児相談を実施 相談員を1名増員し、学校との連携を図った		29	利用会員数 157人 サポート会員数 43人 両方会員 13人 サポート会員活動数 748人
	30	土岐津児童館、泉児童館のトイレを洋式化し、土岐津にベビーシート、泉にベビーチェアを設置		30	対象者330名、家庭訪問数327件		30	家庭児童相談の実施、療育センターによる幼児育児相談を実施		30	利用会員数 168人 サポート会員数 44人 両方会員 13人 サポート会員活動数 848人
「ときっこ子育てハンドブック」の作成		放課後の児童対策		子ども向け資料、講座等の充実		あすなる家庭通信の送付とwebサイトへの掲載					
事業内容	・市内の遊び場、幼稚園・保育園、子育てに悩んだときの情報源である「ときっこ子育てハンドブック」を作成	事業内容	・児童が放課後等を安全・安心に過ごす居場所ともなる「放課後教室」の運営	事業内容	・絵本、児童書を充実させるとともに、読み聞かせや子ども向け講座を開催	事業内容	・36ヶ月までの第一子世帯を対象にした子育て支援にかかる情報誌「あすなる家庭通信」を各家庭に送付				
決算額	28	195千円	決算額	28	61,199千円	決算額	28	81千円			
	29	0千円		29	68,717千円		29	97千円			
	30	658千円		30	71,371千円		30	97千円			
事業実績	28	隔年で作成(3,000部)し、出生世帯、転入世帯へ配布	事業実績	28	・1042人の児童が放課後教室に登録。 ・述べ72,295回の参加	事業実績	28	・1、2、3、6、12、24、36ヶ月の第一子世帯と36ヶ月未満の乳児がいる転入世帯に通信を送付。 ・H28年度、計1,118通送付。			
	29	市民協働によるハンドブック作成を目指し、検討会議を実施(9回)		29	1091人の児童が放課後教室に登録。 ・述べ77,715回の参加		29	・29年度、計1,058通を送付。			
	30	市民ボランティアとの検討会議を実施しながら、掲載内容の検討、掲載施設の取材等を進め、ハンドブックを完成した		30	1167人の児童が放課後教室に登録。 ・述べ72,295回の参加		30	・30年度、計1,082通を送付。			
				子ども向け資料、講座等の充実							
				事業内容	・絵本、児童書を充実させるとともに、読み聞かせや子ども向け講座を開催						
				決算額	28	3,477千円					
					29	3,772千円					
					30	3,632千円					
				事業実績	28	児童書、絵本2,052冊購入イベントに合計224名参加 毎週土曜日低学年までの子供向け読み聞かせ(52回) 毎月第3木曜日0歳児向け読み聞かせ(12回)を実施。					
					29	児童書、絵本2,012冊購入。イベントに合計265名参加 読み聞かせ実施					
					30	児童書、絵本1,989冊購入。イベントに合計219名参加 読み聞かせ実施					

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1：土岐市の次代を担う「ひと」を育む

4 特色ある小学校・中学校づくり

推進会議委員
による評価

【2人】
【2人】
【2人】
【0人】

- 非常に効果的で有効であった
(目標達成するなど大いに成果が得られたとみなせる)
- 相当程度効果はあり有効であった
(目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)
- 一定の効果はあった
(達成状況は芳しくなかったものの、取組を継続すべきである)
- 効果が無く有効ではなかった
(このまま継続しても成果が得られないとみなせるもの)

指標名	基準値 (年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 (年)	達成度
学校教育の充実に関する保護者の満足度	85.0% (H26)	85.4% (H28)	85.1% (H29)	86.0% (H30)	88.0% (H31)	○ (数値改善)
学校生活で充実感のもてる児童生徒の割合	44.2% (H26)	44.9% (H28)	45.6% (H29)	55.0% (H30)	50.0% (H31)	◎ (目標達成)
学校図書館の週3回以上利用率	35.7% (H26)	34.6% (H28)	34.2% (H29)	36.3% (H30)	40.0% (H31)	○ (数値改善)

事業 「教育環境の整備」のための主な事業

「はつらつ人材バンク」派遣事業	
事業内容	・外国語の指導やパソコンの活用ができる人材を活用した「はつらつ人材バンク」派遣事業の実施
決算額	28 1,299千円
	29 1,246千円
	30 943千円
	事業実績
28	幼・小・中で244回の実施 外国語講師派遣事業は小学校で81回の実施
29	幼・小・中で217回の実施 外国語講師派遣事業は小学校で85回の実施
30	幼・小・中で214回、小学校外国語派遣事業活用回数43回

ALT派遣事業	
事業内容	・ALT(外国語指導助手)の幼小中などへの派遣の実施
決算額	28 9,876千円
	29 13,593千円
	30 15,392千円
事業実績	28 外国人青年招致事業(JETプログラム)によりALT2名配置。
	29 1名増員し、ALT3名配置
	30 ALT3名配置

「夢教室」の開催	
事業内容	・一流スポーツ選手等を招いた「夢教室」の開催
決算額	28 2,326千円
	29 2,100千円
	30 2,150千円
事業実績	28 小学校5年生を対象に「夢教室」(JFAこころのプロジェクトに委託)を行った。
	29 小学校5年生を対象に「夢教室」(JFAこころのプロジェクトに委託)を行った。
	30 小学5年生17クラスに対し、夢教室を開催。

読み聞かせ・定期配本の実施	
事業内容	・読書推進校における読み聞かせや、定期配本を実施
決算額	28 0千円
	29 0千円
	30 0千円
事業実績	28 濃南小学校における読み聞かせ11回、下石放課後教室における読み聞かせなど合計300名が参加
	29 合計545名の参加 学校への貸出計33回4,192冊。放課後教室への貸出計12回2,400冊。
	30 合計633名の参加 学校への貸出計33回4,016冊。放課後教室への貸出計12回2,400冊

事業 「支援を必要とする児童生徒へのきめ細やかな対応」のための主な事業

教育相談員の配置	
事業内容	小学校・中学校に教育相談員を配置し、心に不安を抱える児童生徒に対して支援を行う
決算額	28 24,225千円
	29 23,675千円
	30 24,104千円
	事業実績
28	小学校8校・中学校6校に各1名を配置
29	小学校8校、中学校6校に各1名を配置
30	小学校8校、中学校6校に各1名を配置

教育相談適応指導教室	
事業内容	不登校児の児童生徒を持つ保護者に指導助言をする教育相談適応指導教室を運営
決算額	28 6,873千円
	29 6,804千円
	30 6,556千円
	事業実績
28	・小学校1校・中学校2校に各1名を配置
29	小学校1校・中学校2校に各1名を配置
30	浅野教室でカウンセリング開催。 延べ110名参加

外国籍児童生徒への日本語指導	
事業内容	・外国籍児童生徒への日本語指導などの実施(外国籍児童生徒:110人:H26.10.1)
決算額	28 3,093千円
	29 3,209千円
	30 3,093千円
	事業実績
28	外国籍児童生徒113名 ・小学校5校・中学校2校で計9名の支援員を派遣
29	外国籍児童生徒121名 ・小学校5校・中学校2校で計9名の支援員を派遣
30	外国籍児童生徒121名 ・小学校5校・中学校2校で計9名の支援員を派遣

アレルギー対応給食支援員の配置	
事業内容	・きめ細やかにアレルギー対応をするために、学校支援員やアレルギー対応給食支援員を配置
決算額	28 1,299千円
	29 1,246千円
	30 943千円
事業実績	28 アレルギー対応給食を必要とする児童生徒が在籍する9の小中学校に11名の支援員を配置し、安全に給食を提供
	29 12の小中学校に14名の支援員を配置し、安全な給食を提供
	30 12の小中学校にアレルギー対応給食支援員を15名配置

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略
基本目標2:土岐市の特色や強みを活かして「しごと」をつくる

5 新たな産業や雇用・
就業機会を創出する

推進会議委員
による評価

【2人】
【1人】
【3人】
【0人】

- 非常に効果的で有効であった
(目標達成するなど大いに成果が得られたとみなせる)
- 相当程度効果はあり有効であった
(目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)
- 一定の効果はあった
(達成状況は芳しくなかったものの、取組を継続すべきである)
- 効果が無く有効ではなかった
(このまま継続しても成果が得られないとみなせるもの)

指標名	基準値 (年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 (年)	達成度
新規立地企業数	20件 (近年累計)	1件 (H28)	1件 (H29)	1件 (H30)	1件 (毎年)	◎ (目標達成)

事業 「新たな地域雇用の創出」のための主な事業

企業立地奨励事業		
事業内容	・土岐市企業立地促進条例に基づき、企業立地促進のための事業所設置奨励金を創設(H27年度は11社に交付)	
決算額	28	144,165千円
	29	162,856千円
	30	119,207千円
事業実績	28	事業所設置奨励金 10社 雇用促進奨励金1社に交付
	29	12社へ奨励金を支出
	30	14社へ奨励金を支出

工業団地整備事業		
事業内容	・新たな工業団地の適地調査を実施	
決算額	28	27,011千円
	29	0千円
	30	—
事業実績	28	新たな工場用地とするための自然環境調査及び基本計画を策定
	29	定林寺工場適地の調査を実施
	30	—

「居場所」づくり事業		
事業内容	・社会的孤立者(ひきこもり、生活困窮者等)に対して社会における居場所を提供し、そこでの活動を経て、自身の目標等をもって社会へ進出してもらおうことを狙い、その居場所となりうる、交流、雇用の場を提供	
決算額	28	241千円
	29	241千円
	30	241千円
事業実績	28	就農、就労体験の居場所を提供 利用者数 11名 年間延べ利用 58回
	29	利用者数 10名 年間延べ利用 42名
	30	利用者数 10名 年間延べ利用 42名

多くの人が集う「土岐テラスゲート」を活用したビジネス創出		
事業内容	・土岐テラスゲートの「まちゆい」内に設置される「まちゆいチャレンジ区画」を市内2業者が半年間利用する場合の区画利用料(固定費)や、臨時店舗販売スペースへの出店利用料を助成	
決算額	27	184千円
	28	助成事業は27年度で終了
事業実績	27	新規出店の飲食事業者に助成金を交付
	28	

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標2: 土岐市の特色や強みを活かして「しごと」をつくる

6 陶磁器産業をはじめとする地元産業を活性化

推進会議委員
による評価

- 【3人】 □ 非常に効果的で有効であった
(目標達成するなど大いに成果が得られたとみなせる)
- 【2人】 □ 相当程度効果はあり有効であった
(目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)
- 【1人】 □ 一定の効果はあった
(達成状況は芳しくなかったものの、取組を継続すべきである)
- 【0人】 □ 効果が無く有効ではなかった
(このまま継続しても成果が得られないとみなせるもの)

指標名	基準値 (年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 (年)	達成度
窯業・土石製品製造出荷額	5,525千万円 (H25)	5,793千万円 (H26)	-	7,020千万円 (H28)	5,600千万円 (H31)	◎ (目標達成)
陶磁器関連事業社数	460社 (H22)	-	-	375社 (H28)	350社 (H31)	◎ (目標達成)
小売商業年間商品販売額	5,023千万円 (H23)	4,686千万円 (H25)	-	6,677千万円 (H27)	6,000千万円 (H31)	◎ (目標達成)

事業 「陶磁器産業等の活性化」のための主な事業

美濃焼振興事業		
事業内容	・美濃焼を国内外に発信し美濃焼産業の活性化を図るため、陶磁器のデザインなどの習得(担い手の育成)や、海外及び全国各地でのPR展示事業に補助を実施	
決算額	28	15,966千円
	29	15,731千円
	30	13,153千円
事業実績	28	・美濃焼展示事業の補助 57社 ・美濃焼PR紙袋の作成(小10,000枚) ・美濃焼PRポスターの作成 600枚 ・美濃焼PRチラシvol.1の作成(25,000枚) ・美濃焼サミットの開催(12/17 参加者40名)
	29	・美濃焼展示事業の補助 77社 ・美濃焼PR紙袋の作成(大5,000枚、中5,000枚) ・美濃焼PRビニール袋の作成(中10,000枚、小10,000枚) ・美濃焼PRチラシvol.1の作成(5,000枚) ・美濃焼PRチラシvol.2の作成(15,000枚) ・美濃焼サミットの開催(2回開催 参加者92名) ・インターンシップ事業(3回開催 参加者25名)
	30	・美濃焼展示事業の補助 65社 ・美濃焼PR紙袋の作成(中5,000枚) ・美濃焼PRビニール袋の作成(中10,000枚、小10,000枚) ・美濃焼PRチラシvol.3の作成(10,000枚) ・HP内容の追加更新(6社) ・オープンファクトリーのチラシの作成(10,000枚)

土岐市産業文化振興センター・セラトピア土岐の運営		
事業内容	産業振興のための多目的大ホールの運営や美術ギャラリーの利用促進	
決算額	28	45,063千円
	29	43,036千円
	30	41,397千円
事業実績	28	産業振興のための多目的大ホールの運営や美術ギャラリーの利用促進(4,751回使用)
	29	・産業振興のための多目的大ホールの運営や美術ギャラリーの利用促進(4,797回使用)
	30	・産業振興のための多目的大ホールの運営や美術ギャラリーの利用促進(4,714回:H30使用)

美濃焼産業観光振興補助		
事業内容	・各地域の陶器祭りを通じた土岐市の活性化と陶磁器産業の振興	
決算額	28	5,400千円
	29	5,400千円
	30	5,400千円
事業実績	28	各地域の陶器祭りへの補助金(3件)
	29	各地域の陶器祭りへの補助金(3件)
	30	各地域の陶器祭りへの補助金(3件)

プレミアム付商品券の発行

事業内容	・地域経済の活性化を図るために、プレミアム付きの商品券(1万円対して2千円のプレミアム)の発行により地域消費を喚起	
決算額	27	95,354千円
	28	27年度で終了
事業実績	27	販売総額:4億円(発行総額4億8千万円 プレミアム率20%) 応募総数:1万12人から4万4691セット 取扱店数:263
	28	
※令和元年10月1日～プレミアム付商品券の発行		

駅周辺市街地における空き店舗の活用

事業内容	・新規出店者に対する固定資産税の補助や家賃補助による駅周辺市街地の振興	
決算額	28	2,958千円
	29	28年度で終了
事業実績	28	店舗賃貸借促進補助金(1件) 出店者家賃補助金(2件)
	29	

中小企業支援事業

事業内容	・地場産業にかかる新製品や商品の展示会・見本市などの販路開拓事業にかかる支援を実施	
決算額	28	144,165千円
	29	162,856千円
	30	119,207千円
事業実績	28	市小口融資の原資として45,000千円 小口制度による借入れをした中小企業に対して信用保証料を助成した。(72件) 販路開拓事業にかかる補助金を支出。(6件)
	29	市小口融資の原資として45,000千円 小口制度による借入れをした中小企業に対して信用保証料を助成 販路開拓事業にかかる補助金を支出(5件)
	30	市小口融資の原資として45,000千円 小口制度による借入れをした中小企業に対して信用保証料を助成 販路開拓事業にかかる補助金を支出(5件)

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標3: 土岐市の特色や強みを活かして「しごと」をつくる

7 地域資源を活かして 交流・集客を拡大する

推進会議委員
による評価

【1人】
【1人】
【3人】
【0人】

- 非常に効果的で有効であった
(目標達成するなど大いに成果が得られたとみなせる)
- 相当程度効果はあり有効であった
(目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)
- 一定の効果はあった
(達成状況は芳しくなかったものの、取組を継続すべきである)
- 効果が無く有効ではなかった
(このまま継続しても成果が得られないとみなせるもの)

指標名	基準値 (年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 (年)	達成度
誘客イベント参加者数	500人 (H27)	211人 (H28)	0人 (H29)	415人 (H30)	500人 (毎年)	△ (目標未達成)
市内イベント来場者数	553千人 (H25)	470千人 (H28)	419千人 (H29)	510千人 (H30)	686千人 (H31)	△ (目標未達成)

事業 「交流人口を活かした「にぎわい」の創出」のための主な事業

観光拠点施設運営事業(テラスゲート土岐)							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・土岐市観光振興計画に基づく観光拠点として、NEXCO中日本の地域連携施設「まちゆい」を、観光における玄関口として位置付け、観光PR事業を展開 ・土岐市を紹介するため、テラスゲート内の「まちゆい」にある「土岐たび案内所」において放映する観光案内動画(映像コンテンツ)を作成 ・「わかりやすさ」に着眼した土岐市観光マップを作成するとともに、土岐市観光大使の酒井敏也氏、神奈月氏を起用した観光ポスターや、デジタルサイネージを活用したPRを掲示 ・NEXCO中日本グループが保有するスマートフォンアプリ(地域スタンプラリー)を活用し、テラスゲート土岐から市内へ誘客を図るなど、土岐市のプロモーション活動を実施 						
決算額	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>16,239千円</td></tr> <tr><td>29</td><td>17,010千円</td></tr> <tr><td>30</td><td>16,728千円</td></tr> </table>	28	16,239千円	29	17,010千円	30	16,728千円
28	16,239千円						
29	17,010千円						
30	16,728千円						
事業実績	<table border="1"> <tr> <td>28</td> <td>「テラスゲート土岐まちゆい」内の「土岐たび案内所」を観光拠点施設と位置付け、土岐市の魅力を発信し、市内周遊を促すために、施設の管理運営をしている土岐市観光協会に補助金を支出</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>「テラスゲート土岐まちゆい」内の「土岐たび案内所」を観光拠点施設と位置付け、土岐市の魅力を発信し、市内周遊を促すために、施設の管理運営をしている土岐市観光協会に補助金を支出</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>「テラスゲート土岐まちゆい」内の「土岐たび案内所」を観光拠点施設と位置付け、土岐市の魅力を発信し、市内周遊を促すために、施設の管理運営をしている土岐市観光協会に補助金を支出</td> </tr> </table>	28	「テラスゲート土岐まちゆい」内の「土岐たび案内所」を観光拠点施設と位置付け、土岐市の魅力を発信し、市内周遊を促すために、施設の管理運営をしている土岐市観光協会に補助金を支出	29	「テラスゲート土岐まちゆい」内の「土岐たび案内所」を観光拠点施設と位置付け、土岐市の魅力を発信し、市内周遊を促すために、施設の管理運営をしている土岐市観光協会に補助金を支出	30	「テラスゲート土岐まちゆい」内の「土岐たび案内所」を観光拠点施設と位置付け、土岐市の魅力を発信し、市内周遊を促すために、施設の管理運営をしている土岐市観光協会に補助金を支出
28	「テラスゲート土岐まちゆい」内の「土岐たび案内所」を観光拠点施設と位置付け、土岐市の魅力を発信し、市内周遊を促すために、施設の管理運営をしている土岐市観光協会に補助金を支出						
29	「テラスゲート土岐まちゆい」内の「土岐たび案内所」を観光拠点施設と位置付け、土岐市の魅力を発信し、市内周遊を促すために、施設の管理運営をしている土岐市観光協会に補助金を支出						
30	「テラスゲート土岐まちゆい」内の「土岐たび案内所」を観光拠点施設と位置付け、土岐市の魅力を発信し、市内周遊を促すために、施設の管理運営をしている土岐市観光協会に補助金を支出						

東濃5市による観光連携事業							
事業内容	・恵まれた交流人口を活かし、「東濃ぐるりん観光促進事業」を拡充						
決算額	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>10,000千円</td></tr> <tr><td>29</td><td>1,400千円</td></tr> <tr><td>30</td><td>800千円</td></tr> </table>	28	10,000千円	29	1,400千円	30	800千円
28	10,000千円						
29	1,400千円						
30	800千円						
事業実績	<table border="1"> <tr> <td>28</td> <td>地方創生加速化交付金を活用し、「東濃ぐるりん観光事業」を実施。観光資源発掘事業、首都圏プロモーション事業、広告掲載事業、インバウンド誘客事業を実施。</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>「半分、青い。」を活用した観光PR事業を実施。イベント出展、雑誌広告掲載。地酒と美濃焼をテーマにしたイベント「MEETS TONO」を開催。来場者数は約3,000人。</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>・MEETS HIGASHI-MINO開催 ・イベント出店(2回)</td> </tr> </table>	28	地方創生加速化交付金を活用し、「東濃ぐるりん観光事業」を実施。観光資源発掘事業、首都圏プロモーション事業、広告掲載事業、インバウンド誘客事業を実施。	29	「半分、青い。」を活用した観光PR事業を実施。イベント出展、雑誌広告掲載。地酒と美濃焼をテーマにしたイベント「MEETS TONO」を開催。来場者数は約3,000人。	30	・MEETS HIGASHI-MINO開催 ・イベント出店(2回)
28	地方創生加速化交付金を活用し、「東濃ぐるりん観光事業」を実施。観光資源発掘事業、首都圏プロモーション事業、広告掲載事業、インバウンド誘客事業を実施。						
29	「半分、青い。」を活用した観光PR事業を実施。イベント出展、雑誌広告掲載。地酒と美濃焼をテーマにしたイベント「MEETS TONO」を開催。来場者数は約3,000人。						
30	・MEETS HIGASHI-MINO開催 ・イベント出店(2回)						

観光PR事業							
事業内容	・観光資源の掘り起こしにより土岐市の魅力を国内外に発信、市を訪れた方々に観光施設を紹介						
決算額	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>12,774千円</td></tr> <tr><td>29</td><td>11,243千円</td></tr> <tr><td>30</td><td>9,675千円</td></tr> </table>	28	12,774千円	29	11,243千円	30	9,675千円
28	12,774千円						
29	11,243千円						
30	9,675千円						
事業実績	<table border="1"> <tr> <td>28</td> <td>新聞・雑誌広告掲載、看板掲出、パンフレット作成・増刷、フォトロゲイニング、若手陶芸作家集団によるシティプロモーション</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>雑誌新聞広告掲載6回、パンフレット作成2種類22,000部、パンフレット増刷20,000部、若手陶芸家集団によるシティプロモーション、観光大使活用(イベント2回、パンフレット1回)</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>・イベントガイド作成(年2回各2万部) ・イベント情報誌掲載 ・パンフレット増刷(2万部) ・観光大使活用事業(2回)</td> </tr> </table>	28	新聞・雑誌広告掲載、看板掲出、パンフレット作成・増刷、フォトロゲイニング、若手陶芸作家集団によるシティプロモーション	29	雑誌新聞広告掲載6回、パンフレット作成2種類22,000部、パンフレット増刷20,000部、若手陶芸家集団によるシティプロモーション、観光大使活用(イベント2回、パンフレット1回)	30	・イベントガイド作成(年2回各2万部) ・イベント情報誌掲載 ・パンフレット増刷(2万部) ・観光大使活用事業(2回)
28	新聞・雑誌広告掲載、看板掲出、パンフレット作成・増刷、フォトロゲイニング、若手陶芸作家集団によるシティプロモーション						
29	雑誌新聞広告掲載6回、パンフレット作成2種類22,000部、パンフレット増刷20,000部、若手陶芸家集団によるシティプロモーション、観光大使活用(イベント2回、パンフレット1回)						
30	・イベントガイド作成(年2回各2万部) ・イベント情報誌掲載 ・パンフレット増刷(2万部) ・観光大使活用事業(2回)						

観光イベント等助成事業							
事業内容	・「土岐市織部まつり」や「陶器まつり」など、人が集い交流するイベントの開催を支援						
決算額	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>12,426</td></tr> <tr><td>29</td><td>12,970</td></tr> <tr><td>30</td><td>12,596</td></tr> </table>	28	12,426	29	12,970	30	12,596
28	12,426						
29	12,970						
30	12,596						
事業実績	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>イベントへの補助金(10件)</td></tr> <tr><td>29</td><td>イベントへの補助金(11件)</td></tr> <tr><td>30</td><td>イベントへの補助金(10件)</td></tr> </table>	28	イベントへの補助金(10件)	29	イベントへの補助金(11件)	30	イベントへの補助金(10件)
28	イベントへの補助金(10件)						
29	イベントへの補助金(11件)						
30	イベントへの補助金(10件)						

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標4: 土岐市に愛着を持ち、安心して住み続けられる「まち」をつくる

8 住み続けたいと思える定住環境としての魅力を高める

【1人】
【2人】
【2人】
【0人】

- 非常に効果的で有効であった
(目標達成するなど大いに成果が得られたとみなせる)
- 相当程度効果はあり有効であった
(目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)
- 一定の効果はあった
(達成状況は芳しくなかったものの、取組を継続すべきである)
- 効果が無く有効ではなかった
(このまま継続しても成果が得られないとみなせるもの)

指標名	基準値(年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(年)	達成度
市政に関する市民参加の機会の充実に関する市民満足度	10.2% (H25)	11.4% (H28)	10.2% (H29)	10.5% (H30)	20.2% (H31)	○ (数値改善)
防犯治安対策に関する市民満足度	22.8% (H25)	17.5% (H28)	12.7% (H29)	15.4% (H30)	27.0% (H31)	△ (目標未達成)
交通安全対策に関する市民満足度	24.0% (H25)	32.7% (H28)	26.1% (H29)	27.7% (H30)	26.0% (H31)	◎ (目標達成)
自治会加入世帯数	17,010世帯 (H27)	16,933世帯 (H28)	16,931世帯 (H29)	16,931世帯 (H30)	16,840世帯 (H31)	◎ (目標達成)
自治会等における自主防災組織の組織率	100.0% (H25)	100.0% (H28)	100.0% (H29)	100.0% (H30)	100.0% (H31)	◎ (目標達成)
自主防犯組織の加入者数	1,034人 (H26)	1,000人 (H28)	1,000人 (H29)	1,000人 (H30)	1,140人 (H31)	△ (目標未達成)

事業

「住環境の整備」のための主な事業

市民バス活性化・再生総合事業		駅前広場整備事業	
事業内容	・社会的弱者の方が、買い出しや通院に困らない生活環境を提供	事業内容	・名古屋圏への通勤者や、高齢者・障がい者等を含むすべての市民が利用しやすい駅前広場の整備(身がいがり乗降所の設置、バリアフリー化など)
決算額	28 47,173千円	決算額	28 199,116千円
	29 66,229千円		29 117,395千円
	30 47,043千円		30 229,229千円
事業実績	28 市民バス・デマンドタクシーの運行補助(8路線・5路線)地域公共交通活性化協議会の開催(4回)	事業実績	28 ・用地買収 ・建物補償 ・建築詳細設計業務委託
	29 市民バス・デマンドタクシーの運行補助(8路線・5路線)地域公共交通活性化協議会の開催(4回)市民バス新規取得(1台)		29 ・トイレ整備、JRR東海駐車場の移転工事、無電柱化を推進するための詳細設計、建物移転補償、電柱移転補償等
	30 ・市民バス(86,417人利用)、デマンドタクシー(1,503人利用)の運行 ・地域公共交通活性化協議会の開催		30 駅前広場整備第2期工事および電柱電線移転の実施により身がいがり乗降所の設置、バリアフリー化などを推進

事業

「地域によるまちづくり」のための主な事業

地域集会所(公民館)の整備補助事業	
事業内容	・財団法人自治総合センターのコミュニティセンター助成事業などを活用し、地域集会所(公民館)を整備
決算額	28 6,148千円
	29 13,536千円
	30 611千円
事業実績	28 ・4件の地域集会所整備事業に補助。
	29 ・改築2件、改修3件、計5件の事業に補助
	30 ・改修2件の事業に補助

事業

「ITを活用した元気な地域づくり」のための主な事業

土岐市における高速情報通信網の整備促進	
事業内容	・高速通信網が整備されていない地区において、通信網の整備促進を検討
決算額	28 0千円
	29 0千円
	30 (債務負担)10,775千円
事業実績	28 検討
	29 検討
	30 曾木町全域に高速通信網を整備する事業者に補助金支出決定
令和元年度、曾木町に高速通信網整備完了	

事業

「子どもの安全確保」のための主な事業

地域の防犯活動の実施		公園施設安全・安心対策事業	
事業内容	・東濃西部地区防犯協会との連携の下、児童の帰宅時間における青色パトロール車両による防犯活動を実施	事業内容	・公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の安全確保し、安全安心な遊びの場を提供
決算額	28 47,173千円	決算額	28 26,271千円
	29 66,229千円		29 45,612千円
	30 47,043千円		30 59,734千円
事業実績	28 ・職員による青色パトロール車両防犯活動を週1回実施。	事業実績	28 ・都市公園の遊具及び公園施設の改修工事を実施。 ・土岐市総合公園施設改修設計業務委託を実施。
	29 防犯パトロールの実施 ・防犯ボランティア団体へ防犯グッズの配布による支援		29 ・都市公園の遊具及び公園施設の改修工事を実施。
	30 防犯パトロールの実施 ・防犯ボランティア団体へ防犯グッズの配布による支援		30 総合公園(1期)整備工事および遊具定期点検の実施

事業

「災害に強いまちづくり」のための主な事業

防災支援事業		非常備消防関係事業	
事業内容	・市民の防災力を高めるため、防災講演会や災害図上訓練(DIG)を開催するとともに、地域防災力向上のため、防災資機材等整備補助を実施	事業内容	・消防本部と共に消防活動を行なう消防団員の活動を支援するため、消防団員の活動服及び靴、無線機といった装備品を充実することによる消防体制を強化
決算額	28 3,449千円	決算額	28 5,353千円
	29 3,652千円		29 7,031千円
	30 8,072千円		30 6,971千円
事業実績	28 DIGを実施。7回347人参加 ・防災資機材等整備補助:26件	事業実績	28 活動装備品を各分団に整備
	29 DIG6回開催、防災リーダー養成講座3回開催 防災資機材等整備補助:15件		29 活動装備品を各分団に整備
	30 DIG5回、出前講座8回、HUG1回、防災リーダー養成講座1回実施。防災資機材等整備補助24件、ブロック塀等撤去補助事業44件交付。		30 活動装備品を各分団に整備 AEDを消防団に整備

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標4: 土岐市に愛着を持ち、安心して住み続けられる「まち」をつくる

9 若い世代の移住・定住を促進する

推進会議委員
による評価

【2人】
【1人】
【3人】
【0人】

- 非常に効果的で有効であった
(目標達成するなど大いに成果が得られたとみなせる)
- 相当程度効果はあり有効であった
(目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)
- 一定の効果はあった
(達成状況は芳しくなかったものの、取組を継続すべきである)
- 効果が無く有効ではなかった
(このまま継続しても成果が得られないとみなせるもの)

指標名	基準値 (年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 (年)	達成度
助成制度があることを理由に定住した世帯	38.9% (H26)	34.5% (H28)	45.6% (H29)	41.3% (H30)	40.0% (H31)	◎ (目標達成)
定住促進事業奨励金交付件数	103件 (H26)	110件 (H28)	135件 (H29)	148件 (H30)	100件 (毎年)	◎ (目標達成)
空き家リフォーム補助利用件数	0件 (H26)	0件 (H28)	0件 (H29)	0件 (H30)	3件 (毎年)	△ (目標未達成)

事業

「若い世代の移住・定住の促進」のための主な事業

定住促進事業	
事業内容	・市内に住宅を購入し、市外から転入する世帯に奨励金を交付 (新築中古住宅を問わず1世帯30万円、中学生以下の子どもがいる場合は、5万円加算)
決算額	28 39,000千円
	29 47,450千円
	30 51,850千円
事業実績	28 定住促進奨励金を110件交付
	29 135件の世帯に交付し、415名が移住
	30 148世帯に交付し、441名が移住

空き家リフォーム補助事業	
事業内容	・「空き家バンク制度」を活用して空き家を利用(居住)される方が、当該空き家を改修する費用の一部(1/2、10万円上限)を助成
決算額	28 0千円
	29 0千円
	30 0千円
事業実績	28 空き家バンク新規登録は3件 契約1件
	29 空き家バンク新規登録は1件 契約1件
	30 空き家バンク新規登録は1件 契約1件

首都圏等から土岐市への移住定住促進	
事業内容	首都圏から土岐市への移住促進のため「ふるさと回帰センター(有楽町交通会館)」へ土岐市PR誌を設置
決算額	28 98千円
	29 0千円
	30 0千円
事業実績	28 チラシを30000部作成し、清流の国ぎふ移住・交流センター(東京・名古屋)や大阪ふるさと暮らし情報センター、市内に営業所がある企業や金融機関、住宅展示場等に配布した。
	29 名古屋市内で開催した移住定住イベントにて市のPRを実施
	30 実績なし

※令和元年度より、一定の条件を満たす東京圏からの移住者に対して支援金を交付

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標4: 土岐市に愛着を持ち、安心して住み続けられる「まち」をつくる

10 健康寿命を伸ばし元気な高齢者を増やす

推進会議委員による評価

【1人】
【0人】
【5人】
【0人】

- 非常に効果的で有効であった
(目標達成するなど大いに成果が得られたとみなせる)
- 相当程度効果はあり有効であった
(目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる)
- 一定の効果はあった
(達成状況は芳しくなかったものの、取組を継続すべきである)
- 効果が無く有効ではなかった
(このまま継続しても成果が得られないとみなせるもの)

指標名	基準値(年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(年)	達成度
保健・健診サービスの充実に 関する市民満足度	33.6% (H25)	41.7% (H28)	25.3% (H29)	37.6% (H30)	35.0% (H31)	◎ (目標達成)
スポーツイベント・事業に参加 した市民の満足度	16.3% (H25)	18.6% (H28)	13.1% (H29)	17.6% (H30)	70.0% (H31)	○ (数値改善)
生涯学習の充実に 関する市民満足度	18.4% (H25)	26.6% (H28)	16.5% (H29)	21.7% (H30)	30.0% (H31)	○ (数値改善)

事業 「元気な高齢者づくり」のための主な事業

一生涯健康な身体づくり	
事業内容	30歳代健康診査、歯周病検診、口腔内審査などの実施 結核や各種のがん検診の実施 75歳以上の生活習慣病の防止 健診の促進
決算額	28 39,676千円 29 45,190千円 30 41,886千円
事業実績	28 30歳代健康診査 163人受診 歯周病検診 132人受診 胃がん検診 1235人受診 大腸がん検診 2881人受診 乳がん検診 1588人受診 29 上記の健診に5,999人受診 30 上記の健診に6168人受診

介護予防や健康づくり	
事業内容	・運動機能向上講座、料理教室、音楽療法講座、脳のすこやか健康教室、絵手紙教室等や、各種出前講座の実施
決算額	28 1,718千円 29 1,168千円 30 1,596千円
事業実績	28 はつらつ元気塾や出前講座など延べ2000人以上が参加 29 はつらつ元気塾や出前講座など延べ2000人以上が参加 30 はつらつ元気塾や出前講座など延べ2000人以上が参加

老人クラブの活動助成	
事業内容	・老人クラブの運動(軽スポーツ、運動会)、文化(囲碁・将棋大会等)活動を支援
決算額	28 860千円 29 860千円 30 860千円
事業実績	28 軽スポーツ大会、運動会 囲碁将棋大会 余技作品展、老人福祉大会 音楽療法講座 計1000人以上 29 上記イベントに計1000人以上が参加 30 上記イベントに計1000人以上が参加

生涯スポーツ推進のための事業の実施

事業内容	・ノルディックウォーキング教室を開催 ・森林ウォーキングときを開催 ・軽スポーツの普及促進のためにスポーツ広場を無料開放(週1回夜間、市民体育館3館)	
決算額	28 465千円 29 396千円 30 326千円	
事業実績	28 ノルディックウォーキング教室8回開催 森林ウォーキングときを開催 164人参加 29 ノルディックウォーキング教室8回開催 森林ウォーキングときを開催 110人参加 30 ノルディックウォーキング教室7回開催 森林ウォーキングときを開催92人参加	

事業 「生涯学習や地域活動の場づくり」のための主な事業

「はなの木大学」の開催	
事業内容	・高齢者の学習と仲間づくりの場として活動する高齢者大学である「はなの木大学」を運営 ・クラブ活動と全体学習を開催
決算額	28 992千円 29 1,113千円 30 490千円
事業実績	28 園芸、パソコンなどのクラブ活動が延べ450回行われた。 ・全体学習を10回開催。平均約150名の参加 29 クラブ活動のほか、全体学習を10回開催。平均約120名参加 30 クラブ活動のほか、全体学習を9回開催。平均約120名の参加

生涯学習指導者バンクの運営	
事業内容	・学校や社会教育などの分野で生涯学習関連事業の増加に応えるため、専門的な知識や技能を持った個人・グループを指導者として登録
決算額	28 20千円 29 15千円 30 10千円
事業実績	28 生涯学習指導者バンクの登録者による講座を2事業開催 計4回33名参加 29 3つの講座を開催 計3回55名参加 30 2つの講座を開催 32人参加

事業 「スポーツを通じた健康づくり」のための主な事業

土岐市民総合体育大会の開催	
事業内容	・土岐市民総合体育大会(春季、夏季、冬季あわせて29種目)を開催
決算額	28 1,728千円 29 1,745千円 30 1,634千円
事業実績	28 29種目 計2163人が出場 29 2114人が出場 30 2055人が出場

土岐市体育協会を通じたスポーツ振興の実施	
事業内容	・TOKIスポーツフェスティバルを開催
決算額	28 467千円 29 467千円 30 478千円
事業実績	28 12種目のスポーツを体験してもらい約1,000人の参加があった 29 12種目のスポーツを体験してもらい約1,000人の参加があった 30 12種目のスポーツを体験してもらい約1,000人の参加があった